



いずみ 市 じょうやく 出水市とラムサール条約



ラムサール条約とは

ラムサール条約は、「湿地の保全」と「湿地の賢明な利用」を目的とした条約です。

例

まずは湿地について理解しよう！

役割



湿原



湖



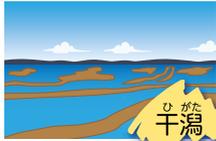
田んぼ



ため池



水路



干潟

定義

ラムサール条約では、人工のものも、一時的なものも、水深6mまでの海も、湿地と定めています。ほとんどの水辺が、湿地ということになります。

「生き物のすみか」+



農業



漁業



観光

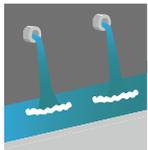


水の供給と
防災

植物、動物、人間といった様々な生態系にとって、湿地は大変重要な役割を担っています。

困った！

世界中で湿地の干拓や埋め立てなどの開発が進み、湿地が減ってきていることから川や海が汚れ、そこに住む様々な生物の絶滅が心配されるようになりました。



条約を締結

「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」を結びました。



イランのラムサールという町で結ばれたので、「ラムサール条約」と呼ばれています。

いつ？
だれが？
何の
ために？

1971年2月2日
18か国の代表者
世界の国々が協力して、世界の重要な湿地を守り、湿地の自然を壊さないようなかたちで賢く利用するため。

第1回目の会議
について

すべての生物は他の生物と互いに支えあいながら生きています。このように複雑な関係をバランス良く保つための基本となるのが「生物多様性」です。例えば、ある1種の昆虫が大幅に減った場合、その昆虫をエサとする生物も減っていきます。このように生物多様性のバランスが崩れると、その地域の生態系全体の危機につながります。

出水の湿地のシンボルは、「ツル」です。



ラムサール条約を結んでいる国

締約国数 → 172

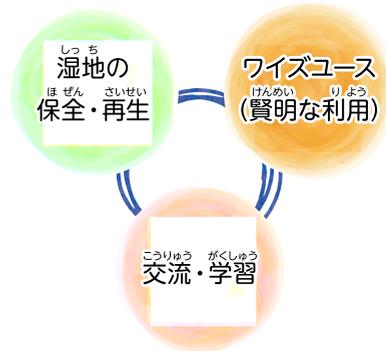
条約登録湿地 → 2,455ヶ所

登録湿地の総面積 → 255,897,678 ha

日本の面積の約7倍!

(2022年9月現在)

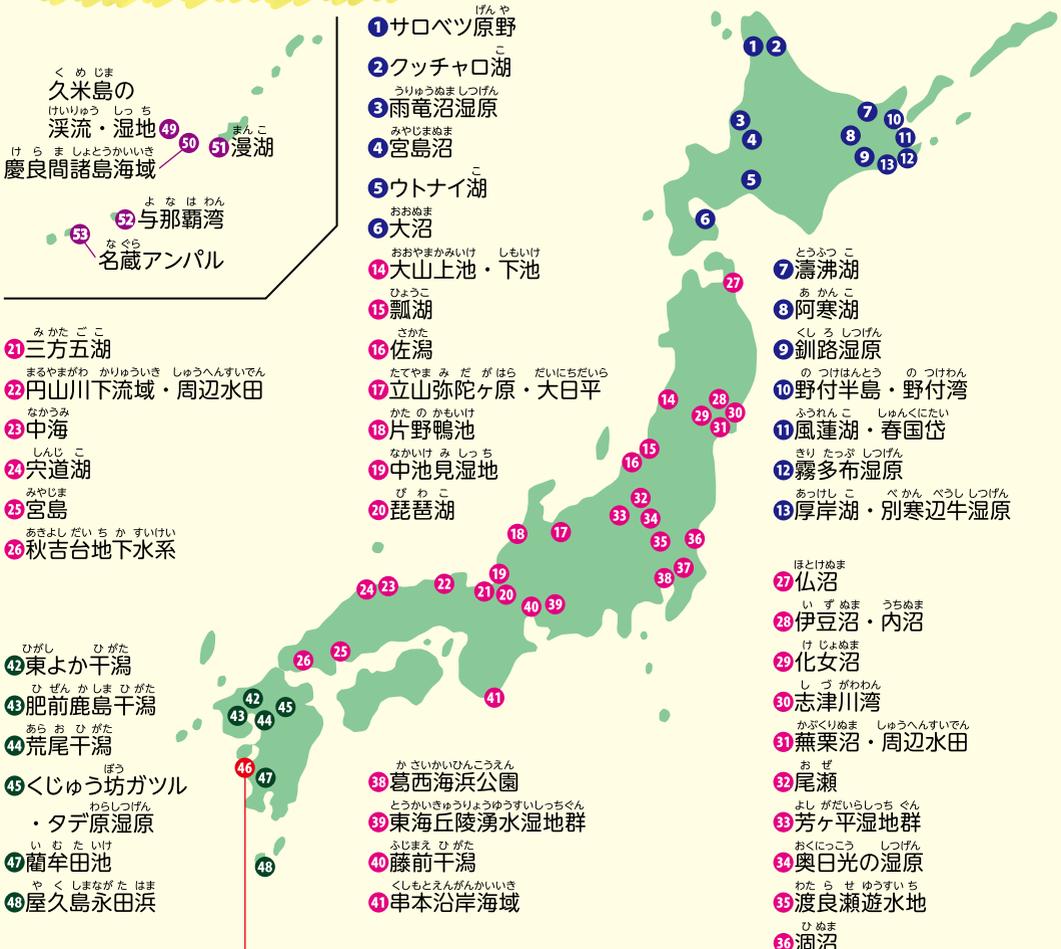
ラムサール条約の3つの柱



日本のラムサール条約湿地登録

日本最初の登録湿地は、1980年の釧路湿原です。

ラムサール条約湿地 位置図



46 出水ツルの越冬地 (2021年登録)



範囲	あらさき ひがしかんたく にしかんたく 荒崎・東干拓・西干拓 すいでん たかおのがわかこう の水田と高尾野川河口 の一部
名称	いずみ えつとうち 出水ツルの越冬地
面積	ヘクタール 478ha



国内のラムサール条約湿地
登録湿地数 …… 53ヶ所
総面積 …… 155,174ha

(2022年9月現在)

いずみ し じょうやく とうらく い 出水市のラムサール条約登録

2021年 「出水ツルの越冬地」がラムサール条約湿地に登録

2022年 「出水市」が日本で初めてのラムサール条約湿地自治体に認証

国際的に重要な湿地と認められるラムサール条約に登録されるためには、9つの国際基準や日本での登録条件に該当する必要があります。「出水ツルの越冬地」は、この国際基準のうち4つを満たし、日本での登録条件にも該当しています。



ぜつめつ しゅ ぐんしゅう ささ しゅ ち
絶滅のおそれのある種や群集を支えている湿地



ぜつめつ き く しゅ えつとう
絶滅危惧種のナベヅル、マナヅルが越冬する



どうしょくぶつ じゅうよう だんかい ささ しゅ ち
動植物のライフサイクルの重要な段階を支えている湿地



なべづる、まなづるのえつとう ち じゅうよう しゅ ち
ナベヅル、マナヅルの越冬地として、重要な湿地である



ていき てき まん ば いじょう みずどり ささ しゅ ち
定期的に2万羽以上の水鳥を支えている湿地



るい ふく まん ば いじょう みずどり まいとし えつとう
ツル類を含め、2万羽以上の水鳥が毎年越冬する



みずどり いっしゅ いちあしゅ こたいぐん こたいすう いじょう ささ しゅ ち
水鳥の1種または1垂種の個体群で、個体数の1%以上を支えている湿地



せかい やく せかい やく まいとし えつとう
世界のナベヅルの約90%、世界のマナヅルの約40%が毎年越冬する

にほん
日本での
登録条件

くに ほくりつ しょうらい しぜん かんきょう ほぜん はか
国の法律により、将来にわたって自然環境の保全が図られること



ちやうじゅうほ ごかん りほう かせんほう しぜんかんきょう ほぜん はか
「鳥獣保護管理法」および「河川法」で自然環境の保全が図られている

にほん
日本での
登録条件

こくさい てき じゅうよう しゅ ち こくさい きじゆん いづれかに 該当すること
国際的に重要な湿地であること(9つの国際基準のいずれかに該当すること)



4つの国際基準に該当しており、国際的に重要な湿地である

にほん
日本での
登録条件

じもとじゅうみん ごうい え
地元住民の合意が得られること



じょうやくしゅ ち とうらく じもとじゅうみん ごうい え
ラムサール条約湿地登録にあたり地元住民の合意を得ている

いずみ えっとうち しゅうめん しっち い 「出水ツルの越冬地」周辺の湿地と生きもの



た 田んぼ

ウスバキトンボ



ヒメガムシ



クロベンケイガニ



ひ がた 干 潟

アサリ



のり



「出水ツルの越冬地」は主に干拓地で、早期米や普通米を生産している田んぼです。干拓は江戸時代から始まり、およそ300年かけて行われ、今の姿となりました。

湿地には、その豊かな生きものをエサとする、水鳥などの動物が集まります。出水市では、およそ300種の野鳥の観察記録がありますが、中でも全国的に珍しいのは、やはり「ツル」でしょう。

出水市は、日本最大のツルの越冬地で、世界15種のツルのうち7種と1雑種の渡来記録があります。

出水市で越冬するツルで一番多いのはナベツルで、次に多いのがマナヅルです。



ナベツル

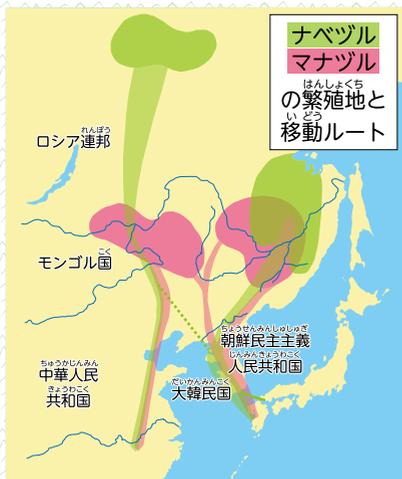
世界の
約90%が
出水で越冬



マナヅル

世界の
約40%が
出水で越冬

東アジアのツル類の繁殖地はロシア、モンゴル、中国です。出水には毎年10月半ばに第一陣が渡来して冬を過ごし、2~3月にかけて北帰行します。



カナダヅル



クロヅル



ナベクロヅル



アネハヅル



タンチョウ



ソデグロヅル



ラムサール条約の目的に沿った活動

いちれい しょうかい
一例を紹介します



しぜんそざい
自然素材(ワラ)を
つか
使ったツルの
ほごさくせつち
保護柵設置



エコツーリズム
ようせい
ガイド養成

いずみ
ふるさと出水
さくせん
クリーン作戦



しまづ ひもんあと せいび
島津樋門跡の整備



ほぜん さいせい
保全・再生

ギフト&
そうさく
レシピ創作



オリジナルロゴマークの活用

ワイズユース
けんめい りよう
(賢明な利用)



いずみ えつとう ちり ようちようせい
出水ツルの越冬地利用調整

2016年度から、ツルの越冬時期に合わせ「出水ツルの越冬地」エリアの入域制限をしています。

なん
何のために？

とり
鳥インフルエンザが発生し、絶滅危惧種であるツルが集団感染すれば、ツルの絶滅を引き起こしてしまうかもしれません。また、いずみ し じゅうよう さんぎょう
出水市の重要な産業である養鶏業にも大変な影響を与えてしまいます。それらを防ぐた

めに、通行ルートを
しやうじ しょうどく
指定したり、消毒の
てい たい
徹底をしたりして、
きょうりやく ねが
協力をお願いして
います。



こうりゅう がくしゅう
交流・学習

ラムサールレンジャーの活動

ラムサール条約の
ツルについての
しゅつちようじゆぎょう
出張授業



はくぶつかんこう ぎ
博物館講座

あなたもラム活

ラムサール条約の登録湿地になった「出水ツルの越冬地」だけでなく、湿地自治体に認証された、わがまち出水市に誇りを持ち、この豊かで恵まれた自然環境を守っていかねばなりません。わたしたち一人ひとりに何ができるかを考え、実行することで、世界に誇れるわたしたちのまちを未来に引き継ぎましょう。

ラム活リスト

あなたが心にかけていることや、やったことがあることに☑をつけましょう。

 <p><input type="checkbox"/> ふるさと出水 クリーン作戦 への参加</p>	 <p><input type="checkbox"/> 干潟や海岸の 清掃活動</p>	 <p><input type="checkbox"/> バード ウォッチングを 楽しむ</p>	 <p><input type="checkbox"/> クレインパーク でツルについて 学ぶ</p>	 <p><input type="checkbox"/> クレインパーク の博物館講座 へ参加</p>
 <p><input type="checkbox"/> ラムサール条約 やツルについて 調べる</p>	 <p><input type="checkbox"/> 田んぼや干潟の 生きもの について調べる</p>	 <p><input type="checkbox"/> 湿地の景色を 楽しむ</p>	 <p><input type="checkbox"/> 潮干狩りや 魚釣りを する</p>	 <p><input type="checkbox"/> 環境にやさしい 製品を使う</p>



このパンフレットを読んで学んだことや、これからどのような取り組みをしていきたいか、今の気持ちを書きとめましょう。

出水市とラムサール条約～わたしたちのまちの恵まれた湿地について学ぼう～
発行／出水市商工観光部 ラムサール推進室 初版／2022年9月発行